


可塑性ボーリンググラウト注入工法

FKグラウト工法



 富士化学株式会社

<http://www.fuji-chemical.com>

◆FKグラウト工法とは



- ・流動性のある2液を注入箇所直前に混合し、凝集反応による**可塑性**の有るモルタルを生成することにより空隙に限定注入することが出来、また**水による希釈がありません**。
- ・**ゲルタイム**を瞬結～中結に**自由に調整**することが可能で、現場条件に応じて通常の薬液注入と同様の浸透注入の施工が出来ます。
- ・瞬結、中結型の材料配合が容易な為、**複相注入での施工**が出来ます。
- ・通常の薬液注入工法(懸濁型)の**ボーリングマシン**・プラントで施工可能です。(専用モニター使用)
- ・機械類の腐食はほとんどありません。
- ・毒劇物等は一切含んでおらず、環境に対応した材料となっております。
- * 可塑性: 自己流動性はないが、若干の圧力で流動する事。

◆FKグラウト工法の標準配合(300%配合)及び性能

		FKグラウトS(瞬結)	FKグラウトM(中結)
A 液	FK-G剤	0.2kg	0.2kg
	FK-N剤	10kg	10kg
	FK-K剤	20kg	—
	高炉セメントB種	75kg	75kg
	水	残	残
	計	200%	200%
B 液	FK28	30%	30%
	水	70%	70%
	計	100%	100%
A + B		300%	300%

ゲルタイム(20℃)	約5秒	20～30秒
------------	-----	--------

一軸圧縮強度 28日(N/mm ²)	1.5以上	1.5以上
--------------------------------	-------	-------

* FK-K剤の調整により、ゲルタイムの調整が可能です。

* 本データは、水道水使用時の室内試験でのデータです。使用水やセメントの品質等により若干の差異が生じます。

◆FKグラウト工法の材料性状

材料名	外観	比重	働き
FK-N剤	薄黄色粉末	2.6	粘着剤
FK-G剤	白色粉末	1.5	分散剤、遅延剤
FK-K剤	白色粉末	2.2	硬化促進剤
FK28	粘調な液体	1.28	凝結剤
高炉セメントB種			

* 高炉セメントB種

地球温暖化の要因のひとつとして、炭酸ガスの発生が上げられています。セメント製造時、炭酸ガスが不可避免的に発生してしまいますが、高炉セメント製造時は普通ポルトランドセメントよりも炭酸ガス量の発生を半分に抑えることが出来ます。つまり、高炉セメントは普通ポルトランドセメントに遜色のない性能を有するだけでなく、省資源・省エネルギー・二酸化炭素発生量の削減が可能な地球に優しいエコ製品です。

品質試験

シリンダー法(日本道路公団規格) JHSA313

A液・B液混合後のFKグラウト

内径80mm×高さ80mm シリンダー

フロー値 80mm～150mm



FKグラウト瞬結配合 ゲルタイム4～5秒



FKグラウト中結配合 ゲルタイム20秒
* 長結の設定も可能



FKグラウト専用削孔・混合モニター



A液・B液混合後のFKグラウト

水中打設試験



* 水中での希釈は、一切見られませんでした。

実施工状況



富士化学株式会社

●本	社	〒534-0024	大阪市都島区東野田町3-2-33	tel. 06(6358)0185
東京工場	〒273-0017	千葉県船橋市西浦3-4-3	tel. 047(435)2151	
名古屋工場	〒461-0001	愛知県春日井市牛山町字下荒井973	tel. 0568(31)1675	
大阪工場	〒573-0003	大阪府枚方市出屋敷西町1-35-1	tel. 072(848)1331	
九州工場	〒800-0115	北九州市門司区新門司3-53-1	tel. 093(481)3370	
東京営業所	〒103-0027	東京都中央区日本橋2-1-1	tel. 03(3275)9333	
大阪営業所	〒534-0024	大阪市都島区東野田町3-2-33	tel. 06(6358)0185	